

## 和顔愛語

令和5年度 朝礼 (4/10) 校長の話

おはようございます。

今日は今年最初の朝礼ということで、初めて全学年の生徒が一堂に会しました。ここにいる一人一人がかけがえのない八中の生徒、このメンバーで今年、この学校の新しい伝統の1ページを作っていきます。期待しています。がんばってください。

さて、2、3年生では始業式で、1年生には入学式で、私から皆さんにお話ししたことを覚えているでしょうか。「心理的安全性」という言葉の意味についてお話をしました。心理的安全性の高い学校づくりを目指していきましょう、というお話です。そのためには、誰かに恥をかかせたり、罰を与えたりするような集団にしないこと、失敗してもいいんだという安心感の中で、伸び伸びと自分らしさを出せる集団作りをしていきましょうとお話をしました。

新しいクラスになり、どの人にとっても新しいスタートです。みんなで「心理的安全性」の高い、安心できる素晴らしい仲間づくりをしていってください。毎日、学校に来るのが楽しいと思えるクラスは、何をしていても絶対にうまくいくクラスです。先生たちも、皆さんがいきいきと生活できるようにサポートしていますので、もし相談したいことがあればいつでもお話にきてほしいと思います。

さて、今日は、そんな良い人間関係を作るうえで、私が大切にしている言葉を、皆さんに紹介したいと思います。それは「和顔愛語」という言葉です。平和の「和」に「顔」という字を書いて「わげん」と読みます。そして、愛するの「愛」に国語の「語」で「あいご」です。(字を見せる) こういうふうに書きます。見えないという人はあとで調べてみてください。

この言葉は、私の生まれた家の柱に、短冊に書いて貼ってあったことから知りました。母親に意味をたずねるとこう教えてくれました。和顔とは、やさしい笑顔のこと、愛語とは優しい思いやりのある言葉のこと。辛いとき、嫌なことがあったとき、そんなときこそまず自分から笑顔と優しい言葉で周りの人と接することが大事だ、と教えてくれました。仏教の言葉だそうです、いい言葉だなとそのときとても感動し、今でも私にとって大事な言葉の一つになっています。

人は辛いとき、眉間にしわが寄ってけわしい表情になります。口から出る言葉は、何かを恨むような言葉、聞きたくないような言葉しか出ません。そんな人のところにはどうでしょう、誰も近づきたいと

思いませんね。その人は、自分の周りから人が離れてますます辛い状態になるばかりです。

反対に、笑顔でいる人の周りにはたくさんの人が集まってきます。笑顔が笑顔を生み、優しい言葉はさらに優しい言葉を引き出してくれます。

「心理的安全性」の高いクラスには、この「和顔愛語」の人が必ずいるのではないのでしょうか。みんなが「和顔愛語」の人であれば、毎日がとても楽しいのではないのでしょうか。

「笑顔になってほしいのならば、まずは相手に笑顔を見せよう。」

「優しい言葉をかけてほしいのならば、まずは相手に優しい言葉をかけてあげよう。」

そんな気持ちで過ごしてみてください。必ず素晴らしい仲間ができて、前向きな毎日を送れるはずで  
す。

今日は、皆さんに、私が好きな言葉を紹介しました。ぜひ覚えておいてください。以上で、私の話は  
終わります。